

令和3年度 指定管理業務評価票(案)

施設名:府立農業公園	指定管理者:SDGs LABO	指定期間:令和3年11月1日~令和14年3月31日	所管課:環境農林水産部農政室整備課
------------	-----------------	---------------------------	-------------------

評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価		大阪府の評価		評価委員会の指摘・提言		
		評価 (S~C)	評価 (S~C)	評価 (S~C)	評価 (S~C)			
I 提案の履行状況に関する項目								
第1 施設の設置目的及び管理運営方針	(1) 指定管理者募集要項に定める「施設の設置目的」及び指定管理者指定申請添付の事業計画書にて提案のあった「管理運営の基本方針」に沿った管理運営ができたか	府立農業公園の施設設置目的及び事業計画にて提案した管理運営の基本方針に沿い、次の項目について適切に実施した ① 農産物等の栽培及び収穫を体験する場 イチゴの収穫体験、タケノコの整地、ブドウ、栗拾い場の確認 ② 自然と触れ合い憩う場 バーベキューサイトの整備・運営 ③ 農産物等及びその加工品の販売等の場 直売所の改装・運営、出荷者募集 ④ 農業に関する研修、情報発信の場 実績なし ⑤ 農業分野に新規参入を希望する法人の職員を対象とした研修の実践 実績なし ⑥ 障がい者等の雇用促進に向けた就労訓練をする場 就労支援事業所(B型事業所)の開設、貝塚市と連携した訓練生等の募集 ⑦ 農福連携のPRなどを通じた障がい者等が担い手となる取組 実績なし	A	A	施設の設置目的及び管理運営の基本方針に沿った管理運営を開始するため、必要な整備を進めるとともに、令和3年11月以降、稼働可能な施設から順次、営業を開始し、府民に対するサービスを提供している。 就労支援施設の開設を行い、障がい者等の雇用に向けた貝塚市等関係機関等の調整を図り、訓練生の募集を進めている。	A	A	—
	(2) 社会貢献活動、環境活動、法令順守の取組みができたか	近郊緑地の届出等の必要な手続きを進め、また、既存の自然を活かした施設整備により、伐採などによる改変範囲の抑制に努めている。 地元6町会長や農産物出荷者への説明会の開催、水利組合等との立会いを行い、地元との連携を図っている。 地元の講演イベントなどに参加し、農福連携に関する講演を行った。(2/17地元小学校講演、2/25波切ホールでの講演)	S	S	運営開始に向け必要な手続きや調整を実施した。 地元町会や水利組合、農産物の出荷者とも調整を図り、良好な関係が構築されている。 地元学区の福祉協議会が主催する研修会において福祉に関する講習を行うなど、積極的な地域貢献を実施している。	S	S	—
第2 平等な利用を図るための具体的手法、効果	(1) 平等利用を確保するための基本方針に沿った運営ができたか ① 誰もが平等かつ簡単に利用できる仕組みのデジタル化 ② 携帯端末による意思疎通やアテンド付き施設案内	① LINEアプリなどを駆使した利用申込システムを構築 ② アテンド付きの施設案内は検討中。お客様のニーズ把握を行っていく	A		HPやLINEアプリを活用した情報発信、申込システムが構築され、手軽に利用できる取組が行われている。	A		—
	(2) 高齢者、障がい者等に対して利用援助の方針に沿った運営ができたか ① 車椅子の無料貸し出し ② 高齢者を優先したサービス提供	高齢者への案内に関しては、臨機応変に対応 開園期間が短く、来園者数が多くないので、今後グランドオープンに向けての準備をしっかりと行う	B	B	トイレの手すりやオストメイトの設置などバリアフリーの施設整備が行われた。 グランドオープン以降、増加が予測される高齢者、障がい者等の利用に配慮したサービスの提供を期待する。	B	B	—
第3 利用者の増加を図るための具体的手法、効果	1 広報、顧客管理等							
第4 サービスの向上を図るための具体的手法・効果	① 利用者の増加を図る取組ができたか	貸農園契約者や来園者などの個人情報についてはデータ管理を実施 暫定的なHP(10月下旬)から本格的なHPへ移行(R4.2.22~) Instagramによる情報発信、現在、7,400人のフォロワーを集める。 新聞取材やテレビ番組の収録に協力し、PRに努めている。 実際建物が出来上がる撮影を3/8に予定(雨天の場合は3/14)	S	A	施設整備段階から、整備状況や営業状況をHPやInstagramで情報発信するとともに、新聞取材やテレビ番組の収録などを積極的に受入れ、顧客の確保に努めている。 2月22日よりHPとInstagramを刷新し、利用者の増加に取組んでいる。	S	A	指定管理分野での情報発信の強化を求める。
	② サービス向上を図る取組ができたか	利用者の申込手続きの簡素化を図るため、GoogleフォームやLINEを活用したデジタルでの情報入力を可能とした	A		HPやLINEアプリを活用した情報発信、申込システムが構築され、手軽に利用できる取組が行われている。	A		

評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価		大阪府の評価		評価委員会の指摘・提言
		評価 (S~C)	評価 (S~C)	評価 (S~C)	評価 (S~C)	
2 農業体験、研修の実施等府民の農への関心・理解を高める業務						
(1) 農産物の栽培及び収穫の体験する場を府民に提供する業務						
ア 農園(区画による利用)の運営						
① 利用者の増加を図る取組ができたか 区画数 51区画 貸付料 6,000円/月 15,000円/月(管理付)	区画の再整理、農機具庫の設置など、手軽に農作業に来れる環境づくりを行った。利用者のご希望を伺いながら進める。ただ、基本泉州地区の利用者なので、より府民の利用を促すため、告知などを行っていく 契約区画数 7区画 (内訳)貸付料 6,000円/月……7区画 15,000円/月(管理付)……0区画	B		貸農園の再整備、区画ごとの農機具ボックスの設置など利用者の利便性向上を図る施設整備が行われている。 稼働率を高めるため、HPやSNSを活用した情報発信に加え、より広く利用者を募集する取組を期待する。	B	農家の指導付きの農業体験農園であることをPRするなど、他の貸農園との差別化を図り、利用したいと感じてもらえる情報発信を求めらる。 合わせて、利用状況についての情報発信を求める。
② サービス向上を図る取組ができたか	地元の方との信頼関係の構築を軸におき、進めている。そうすることで、地域住民の方が積極的にお声掛けをいただいております、プロによる畑づくりのアドバイスを円滑に行うことができる方向で進んでいる 管理付きの農園についてのサービスの予定であった来園できない借主へのデジタル映像配信サービスについては、管理付契約がまだ0件であるため、今のところ実施実績がない 借主に代わって農福連携による農作物の世話の実施を行う予定だが、管理付契約がまだ0件であるため、今のところ実施実績がない	B	B	地元農家と連携し、利用者への営農指導を行うなど、他の貸農園との差別化を図る体制を構築している。 デジタル映像配信サービスをモデル的に実施するなど、管理付き農園の契約件数の増加を図り、障がい者による農業分野での就労機会の創出を期待する。	B	
イ 農園(体験による利用)の運営						
① 利用者の増加を図る取組ができたか	初年度ということもあり、本格的な稼働はしておらず、様子を見ながら準備中 イチゴに関しては予想以上に育生がうまくいっており、収穫したイチゴは直売所にて販売 お客様からは高評価を得て、売り切れる日々が続いている イチゴの収穫体験は、3月5日より開始	B		地元農家や農業改良普及員の指導を受け、イチゴやブドウなど栽培を行っており、イチゴは、収穫体験を実施。 引き続き、多くの品種の収穫体験の実施を期待する。	B	
② サービス向上を図る取組ができたか	収穫体験作物の年間スケジュール管理をデジタル化を行う予定だが、未実施	B		一年を通じて農作物の収穫体験ができるように年間の栽培スケジュールを作成し、情報発信するとともに、着実な栽培準備が進められることを期待する。	B	
(2) 自然と触れ合い及び憩う場を府民に提供する業務						
バーベキューサイトの運営						
① 利用者の増加を図る取組ができたか 区画数 30区画	バーベキューサイトの再整備及び区画拡大を実施。 オフシーズンということもあり、実績なし また、HPにて募集、告知を行う	A		バーベキューサイトの区画や炊事場の再整備が実施された。	B	—
② サービス向上を図る取組ができたか	レンタル機材を充実させるとともに農業体験で収穫した食材でバーベキューができるように進めていく	B	B	多様な利用形態を想定した区画割や安全性を高めるフットライトの設置などサービス向上を図る取組が行われている。 手ぶらでもバーベキューが楽しめる充実したレンタル器具の準備や食材の提供サービスが行われている。	B	
(3) 農産物等及びその加工品の販売等の場を提供する業務						
農産物直売所の運営						
① 利用者の増加を図る取組ができたか	売上報告・人数 11月¥289,420/409人、12月¥361,540/484人、1月¥453,500/460人、2月¥296,105/382人(2/23現在) 売れ残った農産物はレストランで提供するため安価で買い取ることにしている 農産物などの陳列は地元の出荷者の方と連携する(手数料18%) 直売所に関しては、出荷者と話し合いの結果、シンプルにアナログを希望 それ以外にご予約に関しては、基本的にはネット対応	S	S	地元農家との話し合いを通じて、安心して出荷できるシステムを構築し、23名の農家と契約を締結。 販売個数を農家ごとにデジタル管理するとともに売れ残りの農産物を買取り、レストランで提供するなど、販売口の縮小に努め、農家との連携と直売所の魅力向上を図っている。	S	直売所での農産物の買取システムは画期的で高く評価できる。 年間の来客数や販売額などの数値目標の設定を求める。 今後は、事業計画書に記載されている農産物の自宅配送システムの導入を期待する。
② サービス向上を図る取組ができたか	POPなどを作り、地元出荷者様との連携はとれている 現在の出荷者との契約数:23名 販売数は、イチゴ、みかん、パウンドケーキなどはよく売れている 直売所出荷者様の意見を反映した取り組みを行い、売り上げにも貢献できていると予想 また、農産物直売所連絡協議会担当者会議に出席して、情報交換をはかる	S		出荷品目や陳列方法について出荷農家の意見を取り入れ、新鮮で購入しやすい価格での販売を行っている。	S	

評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価		大阪府の評価		評価委員会の指摘・提言		
		評価 (S~C)	評価 (S~C)	評価 (S~C)	評価 (S~C)			
	(4)農業に関する研修、情報発信、催物等を行う業務							
	① 利用者の増加を図る取組ができたか	HP、ならびにグランピングマーケットチームを結成 指定管理の受託をいただいた時期からスタート。HP作成会社はテーマパークHP制作の実績があり、またマーケットチームは九州でのグランピング施設の運営実績あり メインはインスタグラムにて情報を発信。グランピングの宿泊チケットプレゼントなど企画を行い、現在7,400人のフォロワーを集める 「農業×福祉×宿泊×食事のSDGs」をテーマに3/27グランドオープン式典を開催予定 (貝塚市長や議員さんをはじめ、約200人規模を予定 テープカットや主賓挨拶、試食やグランピングの見学など ただし、コロナ禍であるため、自治体からの要請次第で内容の変更あり) アドベンチャーワールドとの合同イベントの開催を予定していたが、コロナ禍により延期 地域の農家、食育インストラクター、野菜ソムリエと料理人により農業を食育の場として活用予定だが、コロナ禍により延期 料理人と地域の生産者との料理勉強会を開催予定だが、コロナ禍により延期	A	B	HPやインスタグラムでは、自然豊かな写真やパース図を多く採用し、魅力を感じさせる農業公園の情報発信が行われ、オープン前にもかかわらず多くのフォロワーを獲得できている。 今年度は、コロナ禍により研修等を実施できなかったが、グランドオープン後は、農業や食などに関する様々なイベントが開催されることを期待する。	B	B	—
	② サービス向上を図る取組ができたか	HP及びインスタグラムにおいて、積極的に内容を更新し、効果的な情報発信を行った。イベント企画を検討するが、コロナ禍の影響により、イベント実績なし	B	B	HPでは、閲覧者にわかりやすいレイアウトや効果的なイラストが多用されている。グランドオープン後は、来園者に満足いただける研修や催物に取組むことを期待する。	B	B	
	3 障がい者等の雇用の促進と、就労の支援の機会を創出する業務							
	(1)障がい者等の雇用を検討している企業等の職員向けの研修に関する業務							
	① 利用者の増加を図る取組ができたか	現地研修会の計画立案、利用募集及び開催(見学会・視察の受け入れ及び説明等) 予定だったが、コロナ禍により延期	C	C	新型コロナウイルスの状況に留意し、研修会等の実施を期待する。	C	C	農福連携の取組みの強化を期待する。
	② サービス向上を図る取組ができたか	研修会が開催できなかったため、実績なし	C	C	企業における就労支援の機会を創出する企画の検討を期待する。	C	C	
	(2)障がい者の就労訓練の場の提供に関する業務							
	① 利用者の増加を図る取組ができたか	農園、直売所等での就労支援事業所(B型事業所)の障がい者等の利用募集、受付及び契約、障がい者等への農作業等の指導、指導計画の立案。現地の相談支援員との信頼関係の構築、情報収集 (実施内容) ・B型事業所の障がい者等の利用募集 自立支援課の方のご協力のもと、利用募集の計画を立てる 来園者との会話の中でPR。また講演イベントなどの告知(2/17地元小学校講演、2/25波切ホールでの講演)	A	B	就労支援事業所を開設し、障がい者の就労や訓練体制を構築し、利用募集を行っている。 積極的に地元の講演イベント等で農福連携の講演を実施している。 グランドオープン後、研修会等を通じて就労支援の場としての活用を期待する。	B	B	農福連携の取組みの強化を期待する。
	② サービス向上を図る取組ができたか	障がい者の受け入れができなかったため、実績なし	C	C	障がい者が就労の楽しさを享受できる訓練プログラムの検討・実施を期待する。	C	C	
	(3)支援学校の生徒の実習の場の提供に関する業務							
	① 利用者の増加を図る取組ができたか	農園、直売所等での実習の利用募集を行うが、現状応募はなし 本事業の周知のための広報として貝塚市へのチラシ配布(R3.11月、R4.1月に市役所へ訪問) 弊社の大阪福祉事業所とつながりのある既設の学校との連携、告知	B	C	関係機関と連携し、積極的な募集活動を行っている。	B	C	農福連携の取組みの強化を期待する。
	② サービス向上を図る取組ができたか	実習生の受け入れができなかったため、実績なし	C	C	実習生が就労の楽しさを享受できる実習プログラムの検討・実施を期待する。	C	C	
	(4)農福連携の取組のイベント・情報発信に関する業務							
	① 利用者の増加を図る取組ができたか	農福連携の取組のイベント予定であったが、コロナ禍により延期。 ハートフルまつり等の連携、単独イベントの計画立案、告知及び開催予定であったが、コロナ禍により延期。 グランドオープンに向けて刷新したホームページにおいて、農業と福祉との連携や障がいを持つ方の働く場づくりもめざした「ハートフルアグリ」を実践する場であることを紹介。	B	B	積極的に農福連携のイベントを企画しており、HPにおける情報発信に取り組んでいる。 新型コロナウイルスの状況に留意し、農福連携に関するイベントの実施、情報発信を期待する。	B	B	農福連携の取組みの強化を期待する。
	② サービス向上を図る取組ができたか	地元の講演イベントなどに参加し、農福連携に関する講演を行った。(2/17地元小学校講演、2/25波切ホールでの講演)	B	B	積極的に農福連携関係のイベントへ参加し、PRに取り組んでいる。 障がい者等が農業分野における就労を楽しみ感じるイベント等の企画・実施を期待する。	B	B	

評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価	大阪府の評価		評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)	評価 (S~C)	
第5 施設の維持管理の内容、的確性及び実現の程度	(1) 点検、補修の的確性、迅速性 ・清掃の徹底(チェックリスト作成(毎日1回))	三和建設の工事関係者によるチェックを行い、不備があれば、すぐに情報共有を行い、改善を行った。	A	B	—
	(2) 定期点検の実施状況 ・安全基準に基づいた定期点検、法定点検の実施	三和建設の工事関係者によるチェックを行った。	A		
	(3) 職員研修の実施回数、参加状況	現状は、少数の準備スタッフのみでの運営であったため、研修形式ではなく、ミーティング形式での情報伝達、運営方法の検討を行った。 グランドオープンを踏まえ、スタッフを増員することになるため、運営マニュアル等の整備を進め、適宜、職員研修を実施していく。	B		
第6 府施策との整合	(1) 提案の実施状況	農業公園利用者の利便性を向上させ、脱炭素社会に貢献する電気自動車用スタンドや循環型バイオトイレの設置を提案。令和3年度の国庫補助事業の募集期間が終了していたことから実現できていないが、令和4年度の実施を目指す。	A	B	適切な接客等の研修を行い、円滑な運営に繋がることを期待する。
	(2) 就職困難者の雇用状況	ハローワークでの求人募集や個別面接を行っているが、採用ができていない。	B		
	(3) 知的障がい者等の現場就業及び職場定着支援の実施状況	知的障がい者等の募集を行うが、採用ができていない。	B		
II さらなるサービスの向上に関する項目					
第1 利用者満足度調査等	(1) 来園者アンケートによる利用者の意見の把握状況	グランドオープン後から実施予定。	—	—	—
	(2) 来園者アンケート結果等の運営への反映状況	グランドオープン後から来園者アンケートを実施、その結果を運営に反映していく予定。	—		
第2 その他創意工夫	(1) 指定管理者によるサービス向上につながる取組み、創意工夫	グランドオープン後、お客様のご意見を伺い、それを形にしていく。	—	—	—
III 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項					
第1 収支計画の内容、的確性及び実現の程度	(1) 事業収支の計画に対する妥当性	予想以上に様々な不備などがあり、初期費用がかかっている 今後自主事業でしっかりと収益を出していく必要がある	B	B	指定管理者としての年間実績を評価するためには、決算後に改めて点検する必要があるため、令和4年度第1回の評価委員会における点検を求める。
第2 安定的な運営が可能となる人的能力	(1) 事業実施に必要な人材・人員数の確保・配置	現状は臨機応変に対応しているが、今後來園者が増えた際に人員確保が必要	A		
	(2) 従事者への管理監督体制、責任体制	各自が責任をもって、先を見据えて運営ができている。連絡網を作り、随時連絡、情報共有が行われている	S		
	(3) 従事者への研修実施の状況	現状は能力があるものが中心に動いており、今後は研修実施などが必要	B		
第3 安定的な運営が可能となる財政的基盤	(1) 共同企業体を構成する法人の経営状況	コロナ禍による事業収入の影響はあったが、安定的な指定管理業務の継続に影響を及ぼすものではない。((一社)FUKURO、三和建設ともに良好)	B	B	

項目ごとの評価は、次の4段階評価とする

- S:計画を上回る優良な実施状況
- A:計画どおりの良好な実施状況
- B:計画どおりでないが、ほぼ良好な実施状況
- C:改善を要する実施状況

年度評価は、次の4段階評価とする

- S:項目ごとの評価のうちSが5割以上で、B・Cがない
- A:項目ごとの評価のうちBが2割未満で、Cがない
- B:S・A・C以外
- C:項目ごとの評価のうちCが2割以上。又は、Cが2割未満であっても、文書による是正指示を複数回行う等、特に認める場合

総合評価及び最終評価は、次の4段階評価とする

- I:評価対象となる年度の年度評価のうちSが5割以上で、B・Cがない
 - II:評価対象となる年度の年度評価のうちBが3割未満で、Cがない
 - III:I・II・IV以外
 - IV:評価対象となる年度の年度評価のうちCが5割以上。
ただし、評価対象期間の後半、取組み状況に継続的な改善傾向が認められる場合を除く
- ※総合評価がIVとなった場合には、次回の指定管理者選定時に減点措置を講ずることとする

令和3年度評価

B